friendship force HIROSHIMA

ＦＦ広島創立１０周年記念号

Newsletter Vol.4

ＦＦ広島10周年を迎えて　　会長　弓手 博

こうぬ国際交流協会のなかに生まれたFF広島。2004年の発足以来、会員は三次に加え広島、福山地区を越えてその周辺地域にまで広がっています。県下3市にまたがるＦＦクラブとして、生みの親こうぬ国際交流協会をはじめ皆さま方のお力添えをいただき活動を続けて参りました。今や海外旅行も、小田 実の60年代ベストセラー「なんでも見てやろう= must-see」から、「なんでもしてみよう= must-do」にシフトしています。旅のスタイルも、デジタル技術のおかげで、レディーメイド・オーダーメイドのものから個別化・個性化したテーマ探索・発見型の旅が好まれるようになってきました。地球規模のグローカル化が進展する今日、トライ・シティーのＦＦ活動も持続可能なものになりますよう、それぞれの地域における生活文化をベースにした参加・体験活動による楽しい出会いと新しい発見のある交流プログラムを創造していきたいと考えています。The more, the merrier. 何事も楽しくなければ存続できません。皆さまからの忌憚のないご意見ご提案をお願いします。

フレンドシップ活動との出会い　　初代会長　近藤 幸晴

私の住む甲奴町は、正願寺の梵鐘の御縁でアメリカ合衆国第39代大統領ジミー・カーター氏が2度来町されました。それ以来、甲奴からジョージア州アメリカス市へ750名、アメリカス市から甲奴へ85名の相互交流が実現しています。ＦＦ活動もその活動の中で知り2004年第18回ＦＦ日本大会に広島クラブとして参加しました。2004年市町村合併に伴い、２つの事業がそれぞれに実施される様になりました。両事業とも盛んに活動されており大変喜んでいます。

ＦＦ広島の創生期を回想して　　第２代会長　伊達 英昭

第１９回FF日本大会（山形市）に参加した際、女性参加者の多さとパワーに驚きました。大勢のアンバサダーを毎年受入れるには広島の会員を増やすことはもちろん、女性の協力と英語が不可欠であることを実感しました。今では女性会員、英語ができる会員が大幅に増え、トライシティーと呼べる組織となり、私が会長就任時に思い描いた理想が現実になっており、組織拡大のために尽力された皆さんに対して心から敬意を払いたいと思います。

ＦＦ広島１０周年を振り返って　　第３代会長　福品 博美

ＦＦ広島クラブ１０周年を迎えられお喜びを申し上げます。思いおこしますと、やはり、２００４年９月にＦＦ広島が初めてＵＳリンカーンＦＦクラブの方々を受け入れた時の事を一番に思い出します。今でも、この時お泊り頂いた方や、その後かかわった方１０人程の方とEmailやfacebook、電話で交流しています。仕事柄忙しく、ＦＦ活動が出来ず、退会いたしましたが、単なる受入れや渡航観光ではなく、交流が一番の姿勢はこの時身に付きました。ＦＦ精神を忘れないようにしたいものです。

ＦＦ広島クラブのレガシーを次世代へ　　第４代会長　森川 高明

２００４年5月、ＦＦ広島クラブが三次市甲奴町に誕生、１０年の歳月が経ったことは感慨深いものがあります。ＦＦの創始者のひとり、ジミー・カーター元アメリカ大統領とＦＦ広島クラブが繋がった歴史的な瞬間でした。この動きを全県下に広げたいという執行部方針が、２００８年の広島支部、２００９年の尾道支部（後の福山支部）の設立に繋がります。３支部はその後、新生ＦＦ広島クラブとして統合されました。今後、20周年をめざし、クラブのレガシーを次世代に繋いでいこうではありませんか。（FFIフィールド レプレゼンタティブ西日本担当）

カーター元大統領とのご縁を結び、ＦＦ広島設立のきっかけにもなった梵鐘。この梵鐘は、第２次世界大戦末期に、砲弾の資材として呉海軍工廠に供出された。ところが原型をとどめたまま終戦となり、その後の数奇な経緯を経て、アトランタ市のカーターセンターに「平和の鐘」として展示されている。１９９０年１０月、カーター元大統領は、「平和の鐘」の故郷である三次市甲奴町を訪問され、正願寺にある２代目の「平和の鐘」を突かれた。甲奴町は、この梵鐘とカーター元大統領の縁で、同氏の故郷であるジョージア州アメリカス市と友好都市の提携を結びホームステイを中心とする交流を続けており、２００４年のFF広島設立の機運が高まった。

FF広島10周年のあゆみ　　編纂　森川 高明

0．クラブ創立前（1985）

2008年、元FF大分クラブ会長、阿南福登さんから送られてきた旧FF誌、”FRIENDSHIP” を見て、FF広島クラブの興味深い歴史的事実を知ることになる。それは、1985年、ハワイ、FFマウイクラブの19名が広島を訪問、原爆被爆者を含む広島市民と交流し、原爆の実相に触れるとともに、日本人の心の琴線に触れた瞬間であった。EDのビル ランキン氏は今や廃刊となった”FRIENDSHIP”を創刊させ、1997年退職するまでその編集責任者を務めた人であり、嘗てビルマ戦線で日本軍と戦った経験の持ち主である。一時は日本人を敵視していたが、広島で寝食を共にした被爆者との経験が彼の心を溶かし、加害者として謝罪を求めたが言葉にならず、涙でくれたという。このように平和を確証できることこそ、FFの神髄であるとFFI 30年記念誌（1977～2007）に記事を残している。　FFJ事務局の記録によれば、広島での１９名の受入は1985年5月24日から、さらに同年８月８日から、広島から18名の市民がマウイクラブを再訪問し友情を確かめている。これらの受入・渡航は、FF広島の設立前の出来事であり、私は「幻の交換」と呼んでいる。また、2011年5月、アトランタのジェイン ランキン夫人を訪問、ビル ランキン氏の生前の逸話を聞くことができた。2004年のFF広島クラブ創立前の歴史に触れることができたことは、私にとって忘れられない出来事となった。

Friendly Encounter

Friendship Force exchanges contribute to world peace, Hiroshima Host says

By Akizumi Suzuki

1．創生期（2004～2008年）

三次市甲奴町にある正願寺の梵鐘が縁で始まったカーター元大統領の出身地、米国ジョージア州アメリカス市との中学生交流事業に続き、大人の国際交流としてフレンドシップ フォースが2004年に始まった。FF広島クラブの誕生である。その後、初の受入と渡航をリンカーンクラブと実施。更に種々の団体の広島ショートステイ[以下、HSS：広島ショートステイの略]の受入や西日本ブロック会議の開催、初の世界大会参加、ブラウンFFI 会長との交流など創立間もないクラブとして大きな創生期の足跡を残した。

FF広島クラブ発足（2004年）

リンカーン受入（2004年）

ケンプシーＨＳＳ受入（2004年）

FFI 世界大会 於：LA（2004年）

ハノーバーＨＳＳ受入（2005年）

リンカーン渡航（2006年）

西日本ブロック会議（2007年）

（３ページへ続く）

アメリカス市来広（2008年）

オークランドＮＳ受入（2008年）

ブラウン会長と会談（2008年）

広島支部発足（2008年）

尾道支部発足（2009年）

三地区統合後の初総会と懇親会

尾道・屋形船（2009年）

2．成長期（2008～2009年）

NPO法人こうぬジミー・カーターシビックセンター国際交流協会の県下にFFを広げるという方針は、2008年に広島支部、2009年に尾道支部の誕生と発展成長した。かくして三次地区、広島地区、尾道（後の福山）地区のトライシティークラブの基礎ができた。その後、３地区で構成されるFF広島は組織の強化、事業の円滑化を目指して「ひとつの鍋に入ろう」のスローガンのもと、統合が図られた結果、新生FF広島が誕生し、さらなる発展期に突入した。

3．発展期（2009年～現在）　以下、思い出深い活動記録をお楽しみください。

オークランドＮＳ渡航（2009年）

初のＷＳ　於:JALホテル（2009年）

オリンピアHSS受入（2009年）

西日本ブロック会議
於: 大分県竹田市（2009年）

ヒューストン他受入（2009年）

日本大会　於: 東京（2009年）

（４ページへ続く）

ブラウン会長 来広歓迎会（2010年）

タウポ受入（2010年）

レスターシャー渡航（2010年）

ウィルスー家 来広（2010年）

メディスンハット受入（2010年）

総会 於：広島サンプラザ（2011年）

広島招聘 於：ハンブルグ（2011年）

コスタリカ受入（2011年）

ブラウン会長 来広（2011年）

日本大会 於：群馬太田（2011年）

オリンピア渡航（2012年）

GハミルトンHSS受入（2012年）

（5ページへ続く）

アメリカス市訪問団受入（2013年）

ホノルル渡航（2013年）

SWフロリダ受入（2013年）

4．ハイライト：第35回世界大会（2012年）

2012年FFI世界大会は22か国、400名の参加者が広島に集い、「平和と友情」を讃えあった。期間中、全プログラムを通して、広島らしさを表すことに力を注ぎ、参加者の心に訴えた。大会成功の原動力は、FF広島会員全員の結束力であったと思う。大会終了後、ブラウン会長からFF35年の節目にふさわしい大会であり、自分のFF人生の中で最も心に残る大会であったとの、最大級の賛辞を頂いた。FF広島クラブの10年の歴史の中でいつまでも記憶に残るイベントとなった。

5．オマハ＆デモイン受入時の隠れた美談（2013年）

デモイン クラブのステーィーブ ヴォイトは旅行の途中肺炎を発病し、10月3日、広島到着と同時に市民病院に緊急入院した。アンバサダー一行はすでに愛媛に移動。途方に暮れる同行のラボンヌ ニーランドとスティーブを支援するためFF広島クラブの会員有志が立ち上がり、病院での通訳、保険会社との交渉、ラボンヌのホームステイや生活支援を続けた結果、2週間の治療と静養で帰国できるまで回復した。帰国した二人とは、11月23日、ニューオーリンズの世界大会で再会、広島で受けた献身的なサポートに言葉に尽くせない感謝を表していた。その後12月28日、二人はめでたく結婚、アイオア州で幸せな生活を続けている。

6．次の10年に向かって

昨年6月に就任されたJoy DiBenedetto 新会長は、事あるごとに、「フレンドシップフォースのレガシーを次世代に継承」することの重要性を述べている。FFI が発足した1977年以降、創始者であるWayne Smith が主張した、「友情を通して平和を実現する」という信念をFFの先達は36年の間、実施してきた。その歴史こそが、フレンドシップ　フォースのレガシー（遺産）といえる。

一方、FF広島クラブが、産声を上げてから漸く10年の歴史が過ぎたが、クラブのレガシイーともいえるこの歴史を次世代の会員さんに引継ぎ、さらなる10年に向けて発展していくことが、今FF広島クラブに籍を置く者に課せられている。次の10年に向かって歴史を重ねていきたい。

サウスウエストフロリダクラブ他受入報告　　CO-ED　猪原俊郎

2013年10月8日（火）～14日（月）サウスウエストフロリダクラブの受入れを行いました。リーディングクラブはサウスウエストフロリダクラブではありましたが中身はオーストラリア、カナダを含む３カ国8クラブからなるもので将に多国籍のアンバダサーであり、これに伴い先方がFFのルールを遵守することが徹底しておらず、必要な事前申告をせずホスト宅に到着後にアレルギー、ベット希望等の申出があり、対応に苦慮しましたし、ホストの皆様にはご心労を煩わせました。今回のトラブルを他山の石として次の交換に生かしたいと思います。

ホスト全員に寄稿いただき、別冊で交換報告書を作成しておりますが、紙面の都合で抜粋して一部を掲載します。

尚、今回の交流を通して心の絆がめばえ、去る3月31日から現地調査に出発されフロリダでの長期滞在をめざして渡米計画を立てている会員もおられることを申し添えておきます。

ホストファミリー感想

受入したジョンソン夫妻、ノーム＆イレーヌはオーストラリア国籍、シドニーから北110kmのニューキャッスルにお住いで、お二人とも72歳。われわれ夫婦とは同世代であり、共通の話題には事欠きませんでしたが、5人の子供、13人の孫、9人のひ孫に囲まれた大家族には、さすがに脱帽といったところ。FFの経歴も長く、多くの国々で多くの人々と交換した経験を持つお二人にとって、広島でのホームホスピタリティー中心のプログラムに満足した様子で、さらに「ヒロシマ」への理解が深まったことは大変有意義だったと話していました。（森川高明・宏子）

男の料理教室参加

マツダミュージアム見学

ポトラックパーティ

Ｓ・Ｗ・ＦＬクラブから、ルイス＆ワンダ・メッサーさんをお迎えしました。広島ＦＦのメンバーとの楽しい交流を通して、私たちの日常生活や文化を知っていただくため、お茶会、着付け、習字等の日本文化体験そして、デイホスト阿部さん宅でのポトラックパーティ等を計画しました。とくに、阿部さん宅での交流は楽しいものでした。それぞれ料理を持ち寄り、広島クラブから８人、ゲストが６人集まり、たくさんの歌や音楽を楽しみました。

（谷口昌史・悦子）

受入れしたマーシー・ターナーさん、ジョン・デニィズさん夫妻は物静かな感じのいい人たちでした。ジョンさんは体格のいい人でしたが、食事制限をされているのか、夕食はほとんど食べませんでした。マクドナルドに行きたいと言われたのには少し驚きましたが、赤坂の店に一緒に行きました。最後の日の夕方は、四人で瀬戸の夕陽を見に行きました。二人とも元気で、すべてのプログラムに参加しました。　後日礼状が届き、福山、広島の旅の全てが印象に残り、皆様に感謝しているとのことでした。（延広正行・路子）

福山市立福山中・高等学校にて

福山城址公園にて

第36回 ＦＦ世界大会レポート

２０１３年１１月22日～24日　アメリカ・ルイジアナ州・ニューオリンズ

１．始めに

一昨年の広島大会で預かった、FFI 公式ホストカップの返却という最後の任務を帯びた参加でした。今回の大会は33か国から700名の参加者が集う、FFIの歴史上最大の大会となり、日本からはFF広島会員、森川高明・宏子、讃井美逵子を含む7クラブ30名が参加しました。（報告者：森川 高明）

２．大会風景

ＦＦＩ会長挨拶

開会式風景

３．再会した懐かしい旧友たち

スティーブとラボンヌ

ロッキー＆ヒラリー

デビー（FFI）

ホストカップ返却

ニューオーリンズジャズ

勉強会（ワークショップ）

料理ワークショップ

ガラパーティー

マルディ グラ パレード

ソーントン・ドノバンスクールでのピーストーク　2013年11月26日

大会参加後、森川高明・宏子と讃井美逵子はNYに移動し井上久美子さんと合流、ソーントン・ドノバン・スクールに於いて、森川のピーストークと女性３人による、被爆体験記と詩の朗読を行い、100名の学生を前に被爆の実相と平和の大切さを訴えました。

広島県立世羅高校の姉妹校、T-D校の広島訪問を機に、NYでのピーストークが実現。森川の被爆体験証言に続き、３名の広島クラブ会員による被爆者体験記と被爆詩が演じられ、生徒たちに平和の尊さを伝えることができました。このイベントは、井上さんの紹介で実現したものです。

第15回 西日本ブロック大会 in 鳥取

2013年10月18日（金）　皆生シーサイドホテル

ＦＦ広島参加者：　弓手 博　猪原俊郎　森川高明

石井嗣代さん、金元勅子さん挨拶

Joy DiBenedetto 会長挨拶

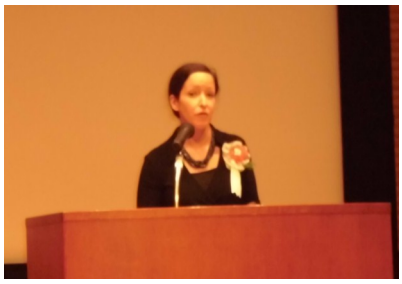
西日本ブロック会議

石井さんFRC退任、金元さんPSC新任　／　広瀬FR 森川FR交代挨拶
各クラブ自己紹介・活動報告　／　FRの仕事・役割について（石井さん、金元さんより）
活動報告のなかの問題点について話し合い　／　次回開催クラブについて
※ＦＲ＝ＦＦＩ フィールド レプレゼンタティブ、ＦＲＣ＝同コーディネーター、
ＰＳＣ＝ＦＦＩ プログラム サービス コーディネーター

第25回 日本大会 in 鳥取

2013年10月19日（土）　米子コンベンションセンター

ＦＦ広島参加者：　弓手 博　猪原俊郎　森川高明



Joy DiBenedetto 会長挨拶

全体会１４時～16時30分

代表者会議10時～12時

荒神神楽の鑑賞13時～14時

開会、挨拶（鳥取県知事、米子市長、ＦＦＩ会長）
石井さん退任挨拶、金元さん新任挨拶、
新ＦＲの紹介（北日本：蓋さん、関東：沼さん、中部日本：森本さん、西日本：森川さん）
参加クラブの紹介
代表者会議の報告・質疑応答
昨年の世界大会についての報告（ＦＦ広島前会長森川さん）
被災地子どもたちのオーストラリア訪問についての報告（ＦＲ蓋さん）
facebookの安全な使い方について（ウエブマスター佐々木さん）、　閉会

なでしこ会の活動

昨年７月に歌の練習を兼ねた親睦会として発足した「なでしこ会」は、不定期ではありますが既に会合を５回持ちました。受け入れ渡航の際に、何か役に立つ事をとの思いで歌の練習、おもてなしグッズ作り、料理のレシピ等々、皆で知恵を出し合っています。第４回は、フレンチレストラン「ミル」にて、森川宏子さんから世界大会参加報告がありました。（報告者　山本鈴子）

英会話サロン

私は外国人と英語で会話ができたらどんなに素晴らしいことかと子供の頃から思っていました。今までに何回となく英語の勉強に挑戦しましたがいつも途中半ばで挫折をして使いものになりません。特に私は耳に入ってくる言葉（英語）を理解するのが困難です。このたび米国人講師の英会話サロンがスタートしました。この機会が最後のチャンスと思って取り組んでいます。ネイティブ・スピーカーの発音を多く耳にいれてレベルアップを図るつもりです。（報告者　神森且視 ）

SWフロリダクラブ渡航報告

昨年10月にサウスウエスト・フロリダクラブから14名が福山に滞在されました。そのＥＤのデニスさんのご厚意でこのたび事務局長の猪原さんと2人でフロリダへ行ってきました。3月31日に出発し1週間のホームステーの観光でしたが一部の時間は私の英会話習得のための下準備に費やしました。実は私は半年間ほど滞在してボランティア活動の生活をしながら学びたい夢をもっています。不安だった米国人たちとのコミュニケーションは猪原さんの同行でまったく心配ありませんでした。この件では、ボランティア先は決まったものの詰めの話にもう少し時間がかかりますがほぼ順調に進んでいます。ＦＦのメンバーの方には多くの写真を撮ってきておりますので英会話サロン等でご披露させてもらうつもりです。マイアミ近くのフォートマイヤーズという都市でしたが観光地のメッカで見るもの行くところが絵になるほど素晴らしいところでした。（報告者　神森且視）

２０１４ＦＦ広島定例総会

去る１月２６日（日）、広島国際プラザ３０３研修室で、２０１４年ＦＦ広島定例総会及び情報交換会を開催致しました。平成２５年度事業報告及び会計報告、並びに会計監査報告、平成２６年度事業計画及び予算案、規約・内規改定、役員改選の議案が承認されました。交換会では会員相互の交流を深め、阿部さんの指揮でFFの歌“Let There Be Peace on Earth”を合唱し閉会しました。

新入会員紹介

小角 典子さん　Noriko Kosumi（福山地区）

世界の人達とふれあい、これからの人生を有意義に過ごしたいと思い入会させていただきました。宜しくお願い致します。

菅川 広弥さん　Hiromi Sugakawa（福山地区）

小角さんの紹介により、今年１月に入会しました。外国の方とかかわる機会が持てれば、という思いでの参加でしたが、今はそれに伴う責任の重さも感じています。人付き合いの苦手な私ですが、「相手を敬い、心を通わせる」をモットーに出来る限りの努力をしていきます。

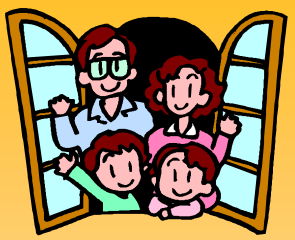
久田 悦子さん　Etsuko Hisada（福山地区）

2011年１０月にＦＦの会員に加えていただきました。ＦＦ広島の会員の方々だけでなく、海外の方たちとの交流も楽しませていただいています。

森川 悦子さん　Etsuko Morikawa（福山地区）

他国の文化、ライフスタイルなどに興味が有り入会させていただききました。宜しくお願い致します。

２０１４年１月～４月に実施した行事



１月１０日　英会話サロン　弓手会長宅
　１２日　Newsletter vol.4編集委員会　広島エアポートホテル
　２６日　定例総会　広島国際センター
２月７日・２１日　英会話サロン　弓手会長宅
　２２日　なでしこ例会　阿部さん宅
３月７日・２８日　英会話サロン　弓手会長宅
　２３日　北イリノイ渡航ＷＳ　広島国際センター
　２９日　執行委員会　弓手会長宅
　３１日　なでしこ例会　三滝寺
４月４日・１６日　英会話サロン　弓手会長宅
　２５日　なでしこ例会　阿部さん宅
　２６日　福山市協働のまちづくり公開プレゼンテーション　福山市役所
　２７日　森川FRによるクラブ訪問（FF広島執行役員と面談）　広島エアポートホテル

これからの予定

５月１８日　ＦＦ広島１０周年記念行事　ジミー・カーターシビックセンター（三次市甲奴町）
　２３日　西日本ブロック会議　長崎県佐世保市
６月２～３日　HSS Izmir, Turkey　19人　広島　※HSS=広島ショートステイ
　１～１１日　北イリノイ渡航　北イリノイ州オークパーク　１３名参加予定
　２９～３０日　ＦＦ日本大会　札幌市　３名出席予定
９月未定　ルガンスク・ウクライナ受入ＷＳ　広島国際センター
　未定　執行委員会　弓手会長宅
９月３０日～１０月６日　ルガンスク・ウクライナ受入　広島・福山・三次
１０月１４～１６日　第３７回 世界大会　オークランド、NZ
１１月２４～２５日　ＳＯＨルーヴェン、ベルギー　１４人　広島
　※SOH=ストップオーバー ホスピタリティー「立ち寄りのおもてなし」
１２月未定　執行委員会　弓手会長宅

編集後記

皆様のご協力により、すばらしい「FF広島創立１０周年記念号」をお届けできることは嬉しいことです。このNewsletterが、これまでの１０年間の歩みを踏まえ、更なる１０年間の歩みに向けての一助となることを願っております。（編集委員　松本浩子・廣森弥生・中垣健一）